

豪雨災害への備えを

道路・側溝へ土砂が流失しないよう、所有者は適切に管理をお願いします

▶問合せ 建設課整備係 ☎25-3421

まずは点検・清掃を

まとまった雨が降る梅雨の季節、側溝から雨水があふれ道路に流れてしまっている――。

こんな状況が起こる前に、まずは身の周りの道路を点検し、側溝などの状況を確認することが大切です。

村では、道路の状態を随時確認し清掃していますが、全ての道路・側溝を清掃することはできません。まずはご自分の家や畑など、隣接する道路や側溝の清掃をお願いします。

もし、個人で手に負えない場合は、各区の区長・班長などに相談し、地域で対応いただくようお願いいたします。

道路に土砂を出さない

畑に隣接する側溝が詰まっていると、雨水の逃げ道がなくなり、畑の土砂が流されるなどの災害が起きやすくなるため、普段からの清掃が欠かせません。

特に注意が必要なのは、赤城西麓土地改良事業で整備された道路です。この道路のほとんどは水路

を兼ねていますが、道路の上まで耕作している箇所が見受けられます。道路に畑の土砂が出ていると、雨水などで下流の側溝に流れ、詰まりの原因となり、他の耕作者や道路利用者に迷惑がかかってしまう恐れがあります。

危険と見受けられる場合は、強制的に土砂を撤去することがあります。その際には、作物に影響を与える可能性があることをご承知おきください。

廃マルチは片づけて

側溝を詰まらせる原因として、他にも畑や道路脇に置かれたゴミなどが挙げられます。

特に、道路脇やガードレール沿いに置かれた廃マルチなどは注意が必要です。集中的に降った雨が道路や側溝に流れ込むと、思わぬ災害を引き起こしたり、被害を大きくしてしまう恐れがあります。

廃マルチは、JAなどで行う回収により適正に処理し、道路脇やガードレールに置かないようご協力をお願いします。

張り出した樹木も危険

宅地内や山林などから道路へ張り出している樹木は、枝の落下や倒木の危険性が高くなっています。これらが側溝をふさいでしまい、詰まりの原因になることもあります。

また、道路に張り出している樹木は歩行者や通行車両の事故につながる恐れもあります。樹木の所有者が責任を問われる場合もありますので、枝払いや伐採を行い適切に管理をお願いします。

皆さんの協力が不可欠

道路は私たちの生活や安全を守る大切な施設です。

梅雨時期や集中豪雨が発生する夏季は特に村内全域の道路・側溝を確認する必要がありますので、皆さん一人ひとりの協力をいただくことが不可欠です。災害が起こってしまう前に、まわりの道路の状況を確認し、側溝の清掃や道路沿いに物を置かないなど、ご協力をお願いします。